

343

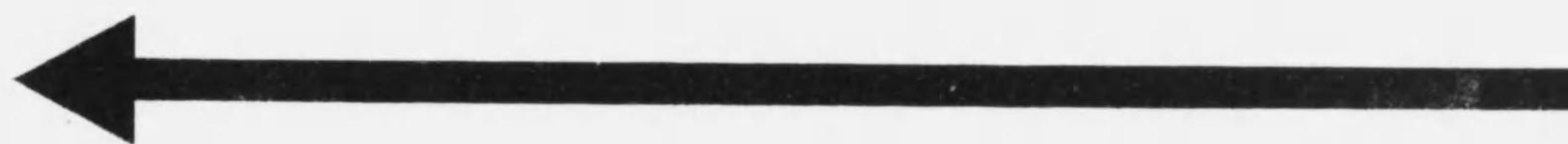
支那讀本

特247
371
局通信社編

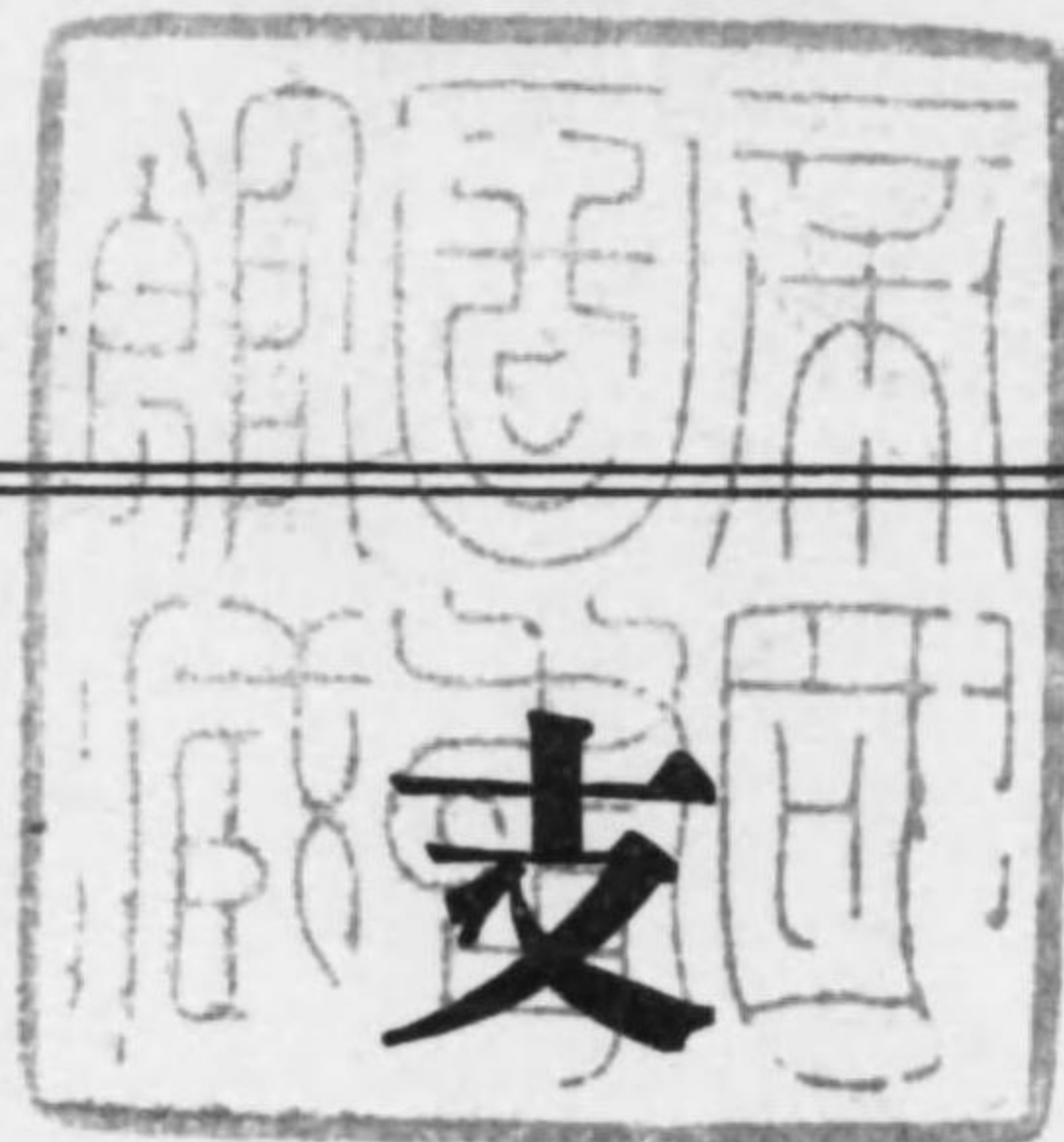
20^セ

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 1 2 3 4 5

始



特.247
371



支

那

讀

本

時局通信社發行



序

七月七日、深更に起つた蘆溝橋事件は、終に第二の柳條溝事件となり、極東のサラエボの一弾となつた。今日支那兩國は全面的な戦争の緊張感に壓迫されてゐる。

この時機にわれ／＼は再び『支那』の國への興味を覺える。そして支那國に對する常識を圓滿にしたい。この意味で『支那讀本』の小冊子を發刊することにした。飽く迄も常識讀本であるこのパンフが街頭に職場に話題の種本ともなれば、編者この上もなき慶びである。幸ひに大方江湖の御好評を御願ひする次第である。

昭和十二年十月

編者誌

支那讀本

- | | |
|--------|----------------|
| 一、概観 | 七、歴史 |
| 二、地理 | 八、労働者運動と労働組合運動 |
| 三、人口 | 九、現代支那に於ける農業問題 |
| 四、經濟概観 | 十、支那の政黨政派 |
| 五、國家組織 | 十一、民國革命の概略 |
| 六、國民教育 | 十二、國民政府の政治組織 |

概観

支那は東アジアの一大國であるが、その名稱も國境線も極めて曖昧な一の變態的國家である。支那

人自身は今日（一九一二年以來）自國を中華民國と呼んでゐる。普通支那は支那本部（十八省）に新疆、及新に察哈爾、綏遠、寧夏、西康、青海の五省を加へて二十四省を云ひ最も廣義には外蒙古及西藏すらも加へられるこゝがある。然し外蒙古はサヴェート同盟の影響下に、西藏は英國の勢力下に何れも既に久しく獨立の状態にあり、一九三二年に滿州國の獨立を見るに至つてから支那の版圖は變更されつゝある。

地 理

地勢 崑崙山脈の延長をなす秦嶺山脈によつて支那は自ら南北に分たれ、兩地方はその地勢、氣象、動植物の分布等も異にしてゐる。黄河の流域をなす北支那は大部分厚さ二十米乃至六百米のリヨス（黄土）の地層に蔽はれた平野である。此處で河川は侵蝕され易いリヨス（黄土）を下流へ押し流す。嘗て海灣をなしてゐた東部の全低地は、斯くの如き地層に満たされてゐる。北支は西部及東部（山東半島）に於て稍々山嶽に富む。北支特有のリヨス土壤は豊沃を以て知られてゐる。南支には西藏高原の延長たる幾多の山脈が走り、その間に廣大肥沃な平野が開けてゐる。この地域は更に揚子江及珠江の二大流域に分つこゝが出来る。土壤は赤土である。

灌溉 支那の主なる河川は黄河、揚子江及び珠江で何れも東に注いでゐる。黄河は上流、中流に於て流れの速きために殆んど汽船の通航不可能である。下流に於ては夏季の氾濫時には尨大な地域を侵すこゝ屢々で、河床を變へることも稀でない。揚子江とその大支流漢江及沃江はその殆んど全長に亘つて汽船の航行可能であり、揚子江は南洋汽船にとつて一千軒迄通航可能である。珠江も殆んどその全長が通航可能である。

氣象 支那の氣象は大陸性で、夏は雨量に富み、冬は乾燥する。南支北支間の溫度差は冬季に於て殊に著しい。北支の大部分では冬季には溫度は零下に降り、南支では零度から二十度の間にある。夏季は溫度の變動甚しく二十度から三十度の間を上下する。東南部支那では降水量は二、〇〇〇耗に達し、その他の地方では一、〇〇〇耗以下である。北支では冬季降雪を見、河川は短期間結氷するが結氷は長からず、且つ積雪も大でない。南支でも時に溫度零下に降るこゝあり廣東に於てすら降雪を見るこゝがある。

動植物界 支那の植物には種々な性質のものがあり、南國性及び北國性（シベリア性）植物を初めとして滿州、蒙古、支那等に特有な風土的（地方的）植物から成つてゐる。森林は山地にのみ保存されてゐる。森林は北支に於ては潤葉樹（大楡、山毛櫸、楓、白樺、七葉樹、桑樹）及び針樹から成る。南支では木連類、椿類（その一種に茶樹あり）月桂樹、蜜柑樹。橙等の常綠樹が多く、最南地方

には椰子樹がある。野獸は主として南西部の山嶽地帯、人口稀薄な地方に棲み、その種類は野猪、山猫、虎、豹等である。西部には大野猫、豹、大密林動物が居る。鳥類で特徴的なものは雉子、孔雀、ペリカン等である。

人 口

支那には正確な人口統計はない、過去の各種の調査に依れば少きは三億二千三百萬。多きは四億八千萬云ひ、推定區々こし定まつておらぬ。然しながら最近民國郵政部の各省別調査に基き、滿州分を除く支那本部の推定人口四億六千五百五十萬人、尙國民政府内務部發表（一九三六年現在）人口四六六、七八五、八五六人、これより滿州國を除外して四三五、七七七、二五六人と成る、然らば先づ四億三千六百萬人と見るこゝが正確に近きものとなるべく面積に於ても内務部は之れを一〇・四五一・六〇四軒（四・〇三五・四四六方哩）を發表してゐる。これによるこ一方軒當り人口四一、六九人（一方哩一〇七、九九人）となる。又外領である西藏及外蒙古を除外すれば面積七・三七〇・五七八方軒、一方軒當り五六、四七人（一方哩一四六、二五人）となり人口密度極めて稀薄である。この人口の民族的構成は、支那人（漢族）九八%、滿州族一・五%、蒙古族、西藏族、回族合して〇・五%である。

南方諸省にはローロー族、苗族等の土民が今なほ生存してゐる。在支外人は近年頗りに増し約三十四萬とせられて居り、外國居住の支那人（華僑）は古く一九二七年調査に依るこ九百六十三萬五千人とあるが、今日一千萬を數へてゐる。社會的構成からすれば主要大衆は農民（八〇%）で、その内譯は大體次の如く推算される——四四%が貧農、二四%が中農、一六%が富農、一一%が小地主、五%が大地主労働者は約五百萬人で、その内約二百萬人が工場労働者、鐵道従業員及び海員で、殘餘は小手工業者人力車夫、苦力その他である。都市人口は全人口の約二〇%である。

經 濟 概 觀

支那は五つの經濟地域に分たれる。即ち

- (一) 西部支那或は新疆省。牧畜業地方で、主要輸出品は羊毛、棉花、獸皮、輸入品は機械製品、砂糖、石油、金屬製品。
- (二) 内蒙古。半牧畜、半農業地方で、家畜中最も主なるものは羊と駱駝である。
- (三) 黄河以北の北部支那。穀物栽培地方で玉蜀黍、粟、米、小麥を産し、未だ工業の發達は弱いが、大なる石炭資源がある。

(四) 中部支那(黄河流域と楊子江流域との間) 米、棉花、甘蔗の栽培大ひに發達し、養蠶業又盛んである。上海、青島等の特別中心地には大工場制紡績業行はれ、武漢と共に近代産業の中心である又山東は石炭及び鐵鑛の豊庫として知られてゐる。

(五) 南部支那(楊子江以南の地域) 製茶業及桑園大ひに發達し、舊式の家内の諸工業又盛大である。

支那本部全般に亘り、凡ゆる種類の野菜、及び藥草の栽培が行はれてゐる。

農業 支那の主要經濟部門は農業である。人口稠密の結果、支那の殆んど凡ゆる部分に發達して居る農法は、小圃に肥料を多く施して行はる連作農法である。土地の一戸當り面積はヨーロッパに於けるよりもすつと小さく、五人乃至六人の家族を有する一戸に付き五畝から十四畝(十畝は我が六段歩餘)即ち〇・三三二ヘクタールから〇・八七ヘクタール(一ヘクタールは我が一町歩強)である。基本農産物は米、粟、玉蜀黍、高粱、小麥、大豆、茶、棉花、煙草である。米は支那人の主食物で、その年收獲高は大略三千八百萬噸に達するが、尙年々八千萬兩(一億兩)の米が主として印度支那から輸入される。小麥の年收獲高は二千萬噸以上に上つてゐる。尙養蠶業は日本に次ぎ世界第二位を占めてゐる。支那は家畜に貧弱であるが、このことは牧草地の不足によつて説明される。最も多いのは豚と緬羊で、西部には駱駝も飼養さる。

鑛業 支那は鑛物の埋藏量とその種類に於て世界で最も豊富な國の一である。しかしその採掘方法は多く舊式であり且つ最大にして良質な鑛山は外人の所有に屬してゐる。支那の主要鑛産物——石炭、鐵、銅及びアンチモニー主として山西、河北山東の諸省に見出される。全支那の石炭埋藏量は今日二三八、五五九、〇〇〇噸とされ鐵埋藏量を三三三、〇〇〇噸以上と計算されてゐる。尙最近年の鑛産額は左の通りである。

支那重要鑛産額 (單位噸)

種目	一九三二年	一九三三年	一九三四年
石炭	一八、四九〇、九七一	一八、五八五、二七一	二〇、四九三、三四二
鐵	一、二六七、一八一	一、八三六、四〇五	一、三五九、五八二
銅	四四〇	四八三	四七一
金	九九、四五〇	九四、六〇八	八六、九二六

製造工業 支那には今日に至るまで家内の手工業的生産がなほ廣く行はれてゐるが、他方には最近二十五年乃至三十年間に發達し始めた近代的大工場制産業も存在してゐる。製造工業部門中第一位に立つものは近來急速な發展を遂げた纖維工業であつて、一九二六年の三百四十一萬四千鍾に對して

一九三六年には五百拾七萬二千鍾に達した。一九二六年の一一七紡績工場に比し一九三六年には一三六六となり、この中九十二が支那人に、三が英國人に四十一が日本人に屬してゐる。

紡績工場國別生産高 (一九三六年調査)

國名	工場數	鍾數(千鍾)	機織臺數	生産高	
				綿糸(千俵)	綿布(千反)
支那	九二	二、八八六	二〇、九二六	一、六一七	九、〇四〇
英國	三	一八八	二、八九一	八〇	一、八四〇
日本	四一	二、〇九八	一八、〇一七	五七六	三、五八五
計	一三六	五、一七二	四一、八三四	二、二七三	二三、四六五

纖維工業に投資されだ資本額からすれば日本が第一位に立つてゐる。生絲工業は支那に於ては家内工業、機械的生産方法の兩方の線に沿ふて行はれて居り、絹絲紡績工場は規程二百以上(約八萬鍾)ある可成りの進歩を遂げた金屬加工及び機械製造工業は、石炭、鐵の大資源が存在してゐるので、今後大なる發展を期待されてゐる。その他の工業部門中急速に發展しつつ、あるものは、煙草、砂糖、製粉、製油、化學工業等である。依然として相當な意義を持つて居るものに、製紙、漆器、陶磁器、象牙細工、木細工、石材彫刻、麥幹眞田等の美術的家内工藝がある。

交通運輸

支那には汽船の通航出来る大なる河川や運河が多く、揚子江とその諸支流、珠江とその諸支流、部分的には黄河、大運河等がそれである。自動車道路は延長二萬杆(一九三四年)鐵道は孫文が主唱したる、交通開發のため十萬哩敷設の精神に基き、五ヶ年計畫案として八千三百三十九杆の敷設實行案をもつてゐる。然し今日に於ける鐵道總延長は二萬杆餘であり其内國有のものには十六線、九三九四杆にしか無い。他は外人所有のものである。外國との交渉は殆んど全部が海によつて行はれる。主要港は上海、廣東及天津で俗に北支六港と云はれてゐるものに秦皇島、天津、龍口、煙臺、威海衛、青島がある。一九三六年に於ける支那各港出入船舶總噸數は一億四千五百一萬九千噸である。電線の延長は地上線九萬餘杆、海底電線三千杆、河川敷設線八十杆に達す。無線電信局は支那の凡ゆる大中心地にあるが、何れも主として外人の所有に屬してゐる。

外國貿易

海陸を通じての支那の輸出總額は七億六百七十九萬一千元(一九三六年)主要輸出品は棉花、茶、皮革、毛糸、綿糸、煙草等で、卵類、豚毛、刺繡及レースなども出てゐる。同じく輸入總額に於ては九億四千四百五十二萬三千元(一九三六年)に上り結局輸入超過二億三千七百七十三萬二千元を出してゐる。主要輸入品は鐵鋼、鑛油、機械、化學製品、砂糖、紙類、鐵道材料、米穀等で輸出入共取引國はアメリカ合衆國を第一位に日本、イギリス及屬領、印度支那、ドイツ、サヴェート同盟、フランス等である。最近五ヶ年間に於ける海外貿易の狀態と、日本、アメリカ、英國三國の貿

易比率は左の如くである。

支那海外貿易額 (單位千元)

年次	輸入	輸出	輸入超過
一九三一年	二、二五六、二七六	一、四一六、九六三	八三九、三一三
一九三二年	一、六五五、五五八	七六八、〇七七	八八七、四八一
一九三三年	一、三五八、九七八	六一二、二九三	七四六、六八五
一九三四年	一、〇三八、九七九	五三五、七三三	五〇三、二四六
一九三五年	九二四、六九五	五七六、二九八	二四八、三九六
一九三六年	九四四、五二三	七〇六、七九一	二三九、七三二

主要三國比率 (百分に對し)

國名	輸入			輸出		
	一九三四年	一九三五年	一九三六年	一九三四年	一九三五年	一九三六年
日本	一一・二%	一五・一%	一六・三%	一五・二%	一四・二%	一四・五%

米國	英國	他に英國屬領、ドイツ、フランス、サウエート同盟、印度支那、和蘭、諸威等あり
二六・二%	一一・〇%	九・三%
一八・九%	一〇・六%	八・六%
一九・六%	一一・七%	九・二%
一七・六%	九・三%	九・二%
二三・七%	八・六%	九・二%
二六・四%	九・二%	九・二%

(尙今日支那の貿易状態は茲數年不振状態を續けてゐるが、その根本的な原因は支那の經濟的な疲弊にもよるが、これにはまた外部的の影響も非常に作用されてゐる、即ち一九三〇年を前後する自然的な、メタリック・インフレーションの時期に於ては銀安に依つて、その輸出極めて活況を呈し、反面また金高にも拘らず支那そのものの需要増大に伴れて輸入も旺盛の状態におかれたのであるが各國の金本位停止に基く金計算貨幣の低落と銀の昂騰、更にこれが米國の銀政策に拍車づけられて、支那は著しいデフレーションの下に追ひやられ、銀高に依つて輸出は停滯し、輸出停滯による購買力低下によつて金爲替安にも拘らず輸入は激減したものである)。

財政 支那には未だ完全なる國家組織が成立しないため、その經濟は國家の統制の下に立つことなくいはゞ利害關係や宗族關係によつて結合された社會の統制によつて規律せられてゐるに過ぎないから、國民經濟上から觀たる確然たる貨幣制度なるものは存在しないと云つてよい。然し大體に於て貨幣の基本單位は兩(約一圓五拾錢)ミメキシコ弗(約一圓弱)である註(兩は大量取引上便宜

に用ふる貨幣單位であつて、これは假想的の價格單位であつて、その實際の支拂資料としては矢張り生銀であるから純然たる秤量貨幣であるばかりでなく、その價格の標準が地方により或は營業の種類に依つて異なることがある）（メキシコ弗は革命後鑄造の新銀元が流通多くなつた今日に於て餘り用ひられなくなつた）。

支那が銀本位制を採用してゐるこゝ、多くの地方的貨幣が流通してゐるこゝ、その上に銀の世界相場が不斷に動搖してゐることは國際的金錢勘定に際して大なる不利となり、又勢ひ貿易をして投機的傾向を帶ばしめる結果となる。支那の國家財政は甚しく貧弱で且つ紊亂を極めて居り、實際上豫算も決算もない。主要財源たる關稅や鹽稅は外國人の管理下にあつて外債の擔保に充當され、或は地方軍隊によつて分割抑留され、實際に中央政府の手に入るのは極めて僅かである。絶えざる内亂の結果、軍費は莫大な額に上り、年々の饑饉に相俟つて豫算の赤字は益々大なる。而も年々に相増す軍費の犠牲に今日既に二十億に上る支那國債の償還には支那勤勞大衆の肩に轉嫁させられてゐる。民國十九年よりの歳出入主要項目を示して見る。

(元萬百位單) 日項要主入出歳國中
(1919年六三九一曆四、年五廿國民)

入					出				
年次	關稅	鹽稅	統稅	合計	年次	軍務費	總額=對 元ル%	債務	總額=對 元ル%
民國十九年	292	130	40	462	民國十九年	312	(40.2)	290	(37.5)
民國二十年	389	155	74	618	民國二十年	304	(40.6)	270	(36.1)
民國二十一年	312	145	83	540	民國二十一年	321	(45.9)	210	(30.0)
民國二十二年	340	159	89	588	民國二十二年	373	(44.6)	244	(29.2)
民國二十三年	335	176	113	624	民國二十三年	383	(40.7)	237	(25.2)
民國二十四年	316	184	116	616	民國二十四年 (豫算)	321	(33.5)	275	(28.7)
民國廿五年					民國廿五年 (豫算)	322	(32.5)	239	(24.1)

國家組織

一九一一年以來支那は形式上共和國であり形式上議會も存在する。そして一九二六年までは實際大總統もあつた。しかし支那に於ける第一革命が敗北して以來、清朝の絕對專制主義に代つたものは軍閥獨裁であつて、袁世凱の死後督軍の名による地方軍閥の割據は益々甚しかつた。一九二八年の北伐

完成によつて形式上全支那は統一され國民黨によつて同年南京に組織された國民政府が全支那の政府を以て自ら任じてゐる。しかし現在支那に於て政治的職能を行つてゐるのは各省政府であつて而もその代表者たるや舊督軍の權力を享有してゐるのである。省政府は形式上國民政府に從屬してゐるが、確固たる中央集權は事實上行はれてゐない。國民政府は三民主義（民生、民政、民族）五權憲法を以て建國の大綱をなし、行政、立法、司法、考試、監察の五院から成り立ち、國民政府主席（一國の元首に相當す）が五院を統轄してゐる。行政院長は首相に、行政院内の十部は各省に夫々相當する。國民政府の組織は國民黨の組織に類似して居り、且つ兩組織は可成り混合してゐる。權力の最高機關は國民黨全國代表大會であるに認められ、それが黨及び政府の凡ゆる重要政策や組織を決定する。然るに國民黨自身が數箇の分派に分裂して居るので、今日、國民黨の旗の下に存在してゐるものは、實は支那の國家權力の爭奪に餘念のない、互に敵對してゐる一連の軍事組織に過ぎない。

一九三二年九月十八日以後の滿洲事變の發展は新滿洲國の獨立を齎らし、支那は重要な一版圖を喪失するに至つた。尙以上のブルジョア地主的諸勢力に對抗して、南支中支の廣汎な地域に勞働者農民兵士のソヴェート權力が樹立され、中華ソヴェート共和國政府なるものが存在してゐることに注目し、價するところである。

國民教育

二十世紀初頭に至るまで支那に行はれてゐた教育は舊式な古典的教育であつた。支那文字の形狀が長年月の學習を必要とする複雑なものであることが又支那に於ける教育の普及を妨げてゐた。一九〇一年に滿洲王朝は、支那のブルジョアの發展に應じる爲に、國民教育の部分的改革に乗り出すことを餘儀なくされた。一九一一年の民國革命は國民教育の問題に大なる刺戟を與へ、最近十年間に、大衆の壓力で言語及び文字の初歩的な民主的的改革が行はれた。一九二四—二五年に支那には五百八十萬を有する十六萬七千の尋常小學校、六十萬の生徒を有する一萬の高等小學校、數百の中學校、師範學校實業學校、數十の大學校及専門學校があつた。而も近年頓に大學校、専門學校は殖へこれに加へて實業學校の逐年増加を示してゐる。然しながら支那四億の人口から見てもまだ、教育の普及全からず人口の大部分は無學文盲で、文字を解する者は全人口の三—五％に過ぎない。外人の傳道學校は支那人のよりも遙かに資金が豊富で、支那の國民教育制度の中で重要な役割を演じてゐる。

歴史

マルクス主義的な支那歴史は未だ存在してゐない。東洋史一般の問題と共に支那歴史の問題が、マルクス主義的研究の對照となつたのは、漸く最近の事に過ぎない。現在の科學的支那研究の根本問題は、支那の封建的發展の東洋的特殊型の分析であるが、それは獨特なる「中央集權的」「官僚主義的」封建制度の様相によつて特徴づけられてゐる。

周の時代 支那の歴史の最古代期は所謂周の時代であつて、西曆紀元前三世紀の半まで続き、古代の諸文献には多少發展せる封建制度の時代として描かれてゐる。支那歴史の次の諸時代に見られる所の獨特の「官僚主義的」「中央集權的」封建制度は實に、周時代の社會組織の崩壞の中から形成されたものである。若干の支那研究者は、支那の封建制度に中央集權的形態が完成されたに就いては、河川文明と結びついた灌漑治水事業を國家的に指導せんとする要求が、基本的な役割を演じたものゝなしてゐる。政治的鬭争の激しい尖鋭化によつて特徴づけられてゐる所の周の封建制度の崩壞時代には又種々なる哲學的政治的思潮が生れて居る。その中で支那歴史に特別な役割を演じたものは儒教である。儒教は周時代に發展せる封建的官僚の道德的並に政治的定説を代表したもので、支那社會制度の官僚的形式の發展に偉大なる組織力として作用した。儒教はこれを大成と改造を加へた後代の新儒教と共に、その後支那における支配的な思想體系となり、その性質に於て、支那に於ける國教の役割を果した。

秦朝 支那封建制度の官僚的組織の基礎は秦朝（西曆紀元前二四九—二〇六年）の時代に形成された。秦の始皇帝は北方の遊牧民（匈奴人其他）に對する全般的鬭争といふ旗の下に支那の統一に務め、封建諸侯と鬭つて見事に成功した。彼は又萬里の長城の工を起し（西曆前二一四年）短期間ではあつたが絶對的帝王權力の樹立を成就した。一部の歴史家は秦の始皇帝の統一者的、中央集權的活動を此の時代に於ける商業資本の強化によつて説明してゐる。

漢朝 秦時代の社會制度の完全なる發展は、次の時代——漢朝（西曆前二〇二—西曆後二二〇年）に至つて到達された。此時代には儒教は封建的官僚政治の強化と相俟つて支配的な意義を獲得した。支那歴史の次の發展は、表面上は經濟的昂揚の時期と經濟的没落の時期——統一的及び遠心的過程（封建的割據）がその夫々に對應した——の交互に入れ替つた時代であるが、そうした過程によつて究極に於て作り出されたものは、經濟的に著しく商業資本の發展に依存するに到つた漢時代の社會體制である。

國內統一化の進むに連れて、比較的孤立状態に在つた支那は、中央アジアの文明諸民族、印度、西部アジア、及び間接的にローマ帝國と益々結合するに至つた。支那はその文化的並に政治的影響を東亞及び中央アジアの支那近隣の野蠻民族の上に擴大した。西曆紀元第一世紀の中頃、佛教が印度から支那に傳はつた。佛教はその後儒教と相並んで支那に於て大なる歴史的な役割を演じた。

略奪的な農民搾取形態が、國內一般の行詰りを背景として、農民一撥を生み出した。これ等の農民一撥は通常一個の歴史的循環の最後の環を形成するもので、その後には、あれやこれやの變化によつて件はれてはゐるが、本質に於ては既往のそれと同様な歴史的段階が再び始まるのである。かゝる危機時代に當り屢々支那は長期に亘る封建的無政府状態に陥つた。又此の無政府状態が、支那を圍繞せる獐猛な遊牧民族（匈奴人、韃靼人、蒙古人）の侵入によつて一層強化された事もあり、時にはこれらの夷狄が、自己の権力の下に新たに國家を統一したこともあつた。支那の文明は、遊牧的及半遊牧的土耳其—蒙古族世界の不斷の相互作用の過程を通じて形成されたものであつて、これ等の異民族の側より受けた影響も少くないが、それにも拘らず、彼等に對する文化的ヘゲモニーは常に支那文明の手に握られてゐたのである。

漢時代の末期 は農民大衆の特に悲惨なる状態を基礎にして勃發した彼の偉大なる黃巾賊の蜂起によつて知られてゐるが、それに續く四世紀間は、支那の中央集權制が崩壊し、封建的割據が復活した時代であり、それは絶え間なき遊牧民群の侵入にまつて絶好の土壤であつた。

唐の時代 封建的割據の此の時代に續いたものは、商業資本の力強い發展と結びついた新たなる統一の時代——唐の時代（六一八—九〇六年）である。幾度かの戦争に勝利を得た後支那は此の時期に、世界最強國の一となつた。唐の時代には支那文學、殊に詩及哲學の發展は、非常な高度に達し

た。支那の文化的影響は、日本・朝鮮・安南・西藏・北方・又は部分的には西方アジアに迄も強い根をはるに到つた。やがて支那人は中央アジアの商業通路獲得のためにアラビヤ人と闘争するに到つたが、これは結局土耳其人によつて漁夫の利益を占められ、同じ頃行はれた支那人と契丹人（東北地方の遊牧民族）との闘争も亦蒙古人の利用する所となつた。

宋朝 十二世紀の初め契丹人との闘争が尖鋭化せる際に打ち立てられた宋朝は、契丹人、女真人及蒙古人と闘つたが、却つて彼等によつて南方へ逐ひやられた。支那の宰相王安石の農業改革も失敗し、農民の不滿を解決するこゝが出来なかつた。

元朝 蒙古族は種々の遊牧民及半遊牧民を自己の周圍に統一して強大なる軍國を作り上げた。一二二二—一二一三年に支那は蒙古人成吉思汗の侵入を受けた。彼の最も近い子孫——ウゲデナ・マンガイ、忽比烈——が支那の征服に完成した。一二八〇年に忽比烈は支那に蒙古族の元朝（一二八〇年—一三六八年）を打ち立て又新しい北の都、北京を建設した。蒙古帝國はドニエプル河畔にまで達し、東ヨーロッパ及びアジアの最も重要な商業上の陸路を掌握するに到つた。かうした事情の下に於ける特徴的な挿話は蒙古時代の初頭に支那を訪れたヴェニス人マルコポーロの旅行（一二七五—一七七七年）であつて、彼こそヨーロッパ商業資本の極東への最初の使者であつたのだ。支那はその國際貿易を廣く發展させ、世界最強國の一となつた。しかし、蒙古族支配の最も重要な基礎の一た

りし、ヨーロッパよりアジアへの世界的な陸路は、その後だん／＼にその重要性を減じて、迂廻的ではあるが、しかし、より価値あり、より自由で、より獨立した海路が徐々に之に代つてきた。

明朝 支那に於ける蒙古族支配の後に續く明の時代（一三六八—一六四四年）は、ヨーロッパ—アジア間の世界的商業通路が陸路より海路に變遷した長い時期を代表し、支那商業資本が没落し、自然經濟の舊い諸形態の復活したのが、その特徴である。然るに明時代の末葉、十六世紀には、支那の沿海にヨーロッパ商業資本が現はれ始めた。最初は來航せるものはポルトガル人（一五一七）次いでオランダ人（一六〇四）及びイギリス人（一六三六）であつた。ロシア人の隊商は一六五八年に北京に現はれ、最初の露支ネルチンスの條約は一六八九年に締結された。同時に支那は北方より韃靼人及び滿洲人の侵入を受け、一六四四年には滿州族は支那を占領して

大清朝（一六四四—一九一一年）を打ち建てた。最初支那は外國貿易に反對しなかつたが、ヨーロッパ商業資本の略奪的政策が支那をしてこれを一廣東港に制限することを餘儀なくせしめたのである。十七世紀の支那に於けるヨーロッパ商業資本の歴史はポルトガル人・オランダ人及びイギリス人の間の激しい競争によつて特徴づけられてゐる。

第一次阿片戦争 支那政府は外國貿易を統制するために、開港場を廣東に限り、又十三人の商人から成る十三洋行を稱する官許の商人團體を作つて、その手に外國貿易を獨占させてゐた。

此の制度はイギリスのブルジョアジエを満足せしめなかつた。イギリスブルジョアジエは、さきに東印度會社の獨占を廢止し、第一次阿片戦争（一八四〇—一八四二年）の獨占の結果、今又十三洋行の獨占から解放された。戦争は南京條約（一八四二年）によつて局を結んだが、この條約は支那の不平等條約の嚆矢となつたものである。十三洋行の廢止、香港島の英國への割讓、五港（廣東、福州、厦門、上海、寧波）の開港、外國領事館の設置、領事裁判權の設定、從價五分の關稅制限、以上が南京條約の内容である。

太平天國の亂 十九世紀に於ける支那の歴史は農民暴動と外國資本の侵入によつて特徴づけられる。農民の封建的高利貸的搾取は幾多の暴動を喚び起したが、その中で最も大なるものは太平天國の亂（一八五〇—一八六四年長髮賊の亂ともいふ）であつた。長髮賊によつて占領された地域に於ては舊國家機關は廢止せられ、地主及び寺院の所有地は沒收せられ、平等なる土地の利用が行はれた。長髮賊によつて宣言された農業共產制は、商業的高利貸的ブルジョアジエと富農層の反抗をよび起し、かくて滿洲人と英國人の聯合勢力が太平天國を最終的に絶滅した。

外國資本の侵略 南支を外國貿易のために開放しただけではヨーロッパ資本は満足しなかつた。第二次阿片戦争（一八五八年）——これには英國の他に佛國も參加した——の結果、北支と中支が外國貿易の爲に開放された。英國の商船に揚子江の航行權が許され、いくつかの新しい開港場が外國商

人のために設けられた。極東に於けるフランスの植民地侵略は十九世紀の後半に始まり、交趾支那を併合し（一八六二）カムボヂヤ（一八六三）ミ安南（一八八四）にフランスの保護國が打ち建てられた。フランスのトンキン併合の努力は支那との戦争を結果し、その結果一八八五年の天津條約となり同條約に於て支那はトンキンに於けるフランスの要求を承認した。支那の南方諸省に於けるフランスの勢力の増大に恐れをなした英國は、印度から支那への直通商業路を開き、又支那から緬甸を奪つた（一八八六）。支那に於けるロシアの侵略政策の積極化はやはり十九世紀の後半から始まつてゐる。一八五八年の愛理條約によつて黒龍江の全左岸はロシアの占有に移つた。一八六〇年に於ける支那と英佛との戦争中、支那政府の困難なる状態を利用して、帝政ロシアはウスリイ地方を自己の領土に加へた。支那から分離せる領土を支那へ返還するこいふ口實の下に、ロシアは一八七一年にイリー地方を占領した。ところが一八八一年のイリー談判によつて此地方の一部はロシアの手に残つた。日本のアジア大陸への進出の努力は、日清戦争（一八九四—一八九五年）を惹起し、その結果支那は臺灣島と澎湖列島を失つた（下關係條約）。

買辦 外國資本の支那への侵入の過程に於て、支那にブルジョアジーの一特殊層たる買辦が形成された。外國資本による國內市場の掌握、支那農民及び手工業者の略奪的搾取と奴隷化の媒介人として現はれた買辦は、客觀的には支那に於ける外國資本の土着代理人に變つた。その後支那に於て資本

主義的諸關係の成長するに連れ、又買辦自身の成長するに連れて、彼等買辦は經濟的にも政治的にも支那ブルジョアジーの決定的努力の一つとなつた。

支那の領土分割 一八九六年にロシアは滿洲に於ける東支鐵道敷設に關する協約に調印し、一八九八年にはドイツは山東省の膠州灣を奪取し、尙ロシアは南滿洲（遼東半島）を、イギリスは威海衛を、フランスは南支の廣州灣を夫々占領した。これと同時に支那に於ける外國鐵道の敷設、帝國主義者に依る支那の財政的隷屬化及び支那の諸列強勢力範圍への分割が始まつた。

拳匪の亂 支那領土の奪取、支那分割とその帝國主義的植民地化の脅威、並に之等と結びついた支那封建制度の崩壊が、ブルジョアジーの民族運動と大衆の革命運動を喚び起した。立憲君主を義を奉ずる急進的官僚康有爲等「上からの改革」の試みは、清朝内部の反動的クーデターによつて百日天下に終つてしまつた（一八九八）同年の四川省の暴動、一八九九年の廣西省三合會の變事に次いで、同年夏に山東省に起つた拳匪の亂は、翌一九〇〇年の北京に於ける義和團事變にまで發展した。民衆武裝團は北京の外國公使館を包圍して戦つたが、日露英米佛獨の聯合軍によつて鎮壓された。一九〇一年の義和團議定書によつて列國は（一）北京天津間に於ける支那側の一切の防備の撤廢と外國の駐兵權（二）參戰各國に對して向ふ三十九年間に、四億五千兩の賠償金の支拂を獲得し、右の賠償支拂の保證として列國は支那の關稅及び鹽稅の管理權を差押へた。義和團事件による清朝の道德的權威の

失墜、團匪賠償金による財政の破綻は清朝崩壊の基礎を作つた。一九〇四——〇五年の日露戦争と一九〇五年のロシア革命は、支那に於ける國民運動の發展に大なる影響を與へた。

清朝の顛覆 一九〇五——一一年に憲法發布と省自治を要求するブルジョアジの闘争が起つたブルジョアジは又帝國主義との闘争なるスローガンを掲げ、外國借款反對、鐵道國有反對の要求を提出してゐる。此の間に農民運動と労働者運動は成長し、一九〇六年には山東に於ける農民の騷擾と湖南諸炭坑に於ける巨大なる労働者暴動が勃發し、一九〇七年には浙江その他の諸省に武裝蜂起が起つた。一九一一年に至つて農民運動の波は益々擴がり、軍隊と労働者が此の運動に加はつたので、清朝は顛覆され、支那は共和國たる事を宣言した。

支那の分裂 権力にありついた支那のブルジョアジは帝國主義の前に降伏し、不平等條約、外債の義務及び外人の特權には手を觸れなかつた。農民運動と労働者運動の深刻なる成長に恐れをなした支那ブルジョアジは、封建的勢力の前にも降伏した。共和國最初の大統領に選ばれた孫逸仙は封建支那の代表者たる袁世凱のために権力から追はれてしまつた(一九一二)。袁世凱は帝國主義者の財政的援助を受けて労働者農民運動を一掃し、國會及び省議會を解散した。一九一五年、袁世凱は帝政クーデターを準備し始め、同年十二月には自ら皇帝と號したが、間もなく帝位を退くことを餘儀なくされた。北方に於ける反動の勝利後、廣東に歸つてゐた孫逸仙は、一九一六年五月十二日に、廣東

に於て権力を掌握し、國民黨政府を組織して北伐の準備にまひりかゝつた。此の時から南支は北支からの獨立を宣言し、支那は内亂の時代に入つたのである。一九一六年、袁世凱の死後、支那は各派軍閥の権力下にある個々の區域に分裂した、滿洲地主の利益の代表者たりし張作霖が滿洲の主人となつた北京に於ては段祺瑞を首領とする××手先安福派軍閥が権力を握つた。中支に於ては軍閥、貴族及び英米の傀儡たる商業高利貸資本の代表者曹錕及び吳佩孚がその支配を強めた。一九一九年から一九二五年に至る期間中、是等の諸軍閥はその権力を全支に擴大するために闘争を續けた。同時に此の間、一時的敗北にも拘らず、南支に於ては孫逸仙の指導の下に國民黨政權が強化しつゝあつた。

世界大戦中 支那の國民的資本主義の發展のテンポは強められ、支那の産業ブルジョアジの階級が形成された。アメリカの強制の下に支那は一九一七年に世界戦争に引き込まれた。この機會は日本にまつてはこよなき機會であり、支那の舞臺をして獨占せしむるため自由な活動が行はれた。所謂「二十一ヶ條要求」は其最高潮であり「西原借款」は金融資本の大輸出であつた。前者は滿洲内蒙古に於ける勢力圏を愈々獨占せんとし、山東利權を獨逸に代つて獨占せんとし、英國の勢力たる楊子江域への勇敢なる進出(江西、廣東、福建への鐵道利權、湖北に於ける鑛山利權)となり、加之支那政府及び其軍備を日本の指導下におかんとするの大望を暴露したものであり、後者は、滿蒙鐵道網利權と共に支那政府其ものを一舉包辦せんとしたものである。然しこの進出はいたく他資本主義

國の嫉妬を招き、殊に門戸閉鎖に對し神經過敏な米國資本家の反感を挑發したのみならず、支那自身も一九一九年五月に起つた全國的反日運動（五・四運動）となつて爆發し、北京の安福派政權打倒の鬭争にまで發展した。斯くて日米間の尖鋭化する鬭争に、支那に於ける日本の地位を弱めんとするアメリカ帝國主義者は努力の結果、ワシントン會議（一九二一—二二）に於て、山東の支那への還附に、膠濟鐵道の支那への引渡（その代償として支那は日本に對し同鐵道財産の價額を支拂ふ義務を負ふに關する決議が採用された。一九二三年末（日本軍は山東から撤兵した。國內に於ける國民解放運動の影響の下に、吳佩孚と曹錕の政府は一九二四年五月三十一日、露支協定を締結した。此の協定は支那の國際關係に於ける轉向點となつた。兩國の完全なる平等の承認は、國民解放運動を強化し凡ゆる不平等條約の完全なる廢棄に關する大衆の要求を喚起した。

國民解放運動の成長　　國內階級鬭争の尖鋭化は、軍閥政治の新發展形式を作り出し、その成分派（馮玉祥その他）を國民解放運動を實行者たらしめた。一九二四年五月二十三日馮玉祥は北京に於てクーデターを斷行し、大總督曹錕を逮捕し、直隸派を絶滅して三個の國民軍の首領となつた。彼は自ら軍閥及び帝國主義者との鬭争を國民解放運動の味方であるに宣言した。一九二六年春、國民軍は奉天軍に壓迫されて河南省と直隸省（河北省）を退き、張家口に於て力を養ふべく餘儀なくされた。敗退せる第二、第三國民軍は第一軍と合流し、一九二六年十月には國民軍は陝西省に退いた。一九二七

年四月、國民軍は吳佩孚軍を一掃して再び河南省に現はれ、同年五月には國民軍と武漢政府の國民革命軍との正式の統一が成つた。一九二六年の國民軍の北京撤退後同地は張作霖によつて占領され、張は舊安福派首領の段祺瑞を臨時大總統に推戴した。一九二六年十一月、張作霖は北方に於ける凡ての反革命勢力より成る安國軍の最高指揮權を握り次いで一九二七年四月六日張作霖の憲兵隊は外交團の同意を得て北京のサヴェート大使館の襲撃を敢行し、大使館員の一部を逮捕した。ここに於てサヴェート同盟政府は抗議の意味で、その全權を北京から召還した。

武漢南京兩政府の統一　　によつて南支をその手中に收めた國民政府は、北方の二大軍閥閻錫山に馮玉祥を引き入れ、最後の軍閥の巨頭張作霖を打倒して北伐を完成せん、一九二八年二月開對に於ける北伐三巨頭會議の作戰協定に基いて三方より北京に迫つた。此時日本の山東出兵が日本兵と支那兵とに衝突を惹起した（濟南事件——一九二八、五、三）張作霖軍は遂に北支を支へる力なく、彼が奉天への歸路、列車諸共爆死した爲、北伐軍は安々と北京、天津を占領した（七月）張作霖の死後張學良は父の後を襲つて東三省保安總司令に就職した。其後も南北妥協の大勢を變へるこゝが出来ず、同年十二月二十九日東三省は、一齊に青天白日旗を掲げて張學良と南京政府との提携を表示し、この政策に反對せる張作霖の重臣楊宇霆は却つて張學良の爲めに暗殺された。

奉天派の南方加擔

に依つて、從來支那土に別箇な政治的經濟的單位を形成してゐた東四省は

新たに支那本土に同一の政治的經濟的單位の中に編入される事となり、封建的地主軍閥政權の下にあった。此地域に國民黨的新興支那ブルジョア階級の指導統制が及ぶこととなつた。この支那ブルジョア階級の支那本土との聯絡を密にし大量生産市場に依る資本の進出を計るべく、米國資本の支持を俟つて愈々焦燥的な運動を展開した。この運動の最初の試みはサヴェート同盟に對する一九二九年七月の東支鐵道武力回收並露支兵衝突事件となつて現はれた。サヴェート政府の平和外交によつて東支鐵道回收に失敗した國民政府は、更に××に於ける×××鐵道に對して陰然公然の防害を試みた。茲に「南滿洲」に於ける日本の勢力は、政治的にも、經濟的にも些の讓歩をなさざるべく、滿鐵を中心とする經濟的進出著しいものに對して、支那大衆の發展も悔り難きものあり従つて其の政治的背景に於て尖鋭化せざる得なくなる。遂に一九三一—三二年の滿洲事變が勃發し、一朝にして其の版圖を空しく新滿洲國の建設を餘儀なくせしめた。

一九二八年北伐完成後 表面上全支は統一され、政府自らも軍政時期より訓政時期に入つたと宣言したが、舊軍閥の蠢動、國民黨軍閥各派間の軋轢は益々甚しく、一九二八年末から翌年一月にかけては四川省の戦亂、一九二九年には張宗昌の山東舉兵、廣西派の武漢及び廣東廣西兩省に於ける戦争、馮蔣兩派間の戦争があり、一九三〇年入つては蔣派と閻馮の北方反蔣聯合軍との南北戦争があつた。この間、支那國內に於ける一般的危機の深化と結合して、國民黨政策に對する大衆の失望の増

大するにつれ、汪兆銘、孫科、陳友三等の國民黨改組派は、この大衆の不平不満の革命的爆發に機先を制する目的で、幾度か偽瞞的な左翼的反政府的標語を掲げて掛け引きを弄し、そのためには張發奎や馮玉祥等の軍閥とも同盟した。かくて數年間に亘る國民政府の統治も、幾多の揚言に拘らず、常に不平等條約の廢棄その他の國權回復の實を擧げ得なかつたのみならず、常に支那の産業的發展を招來し得なかつたのみならず、寸時にして滿蒙の國土を喪失し、國內の危機を益々深化した。加へて國內統一の建前より、中支、南支に在る共產軍を討伐すべしと、第一次、二次、三次の討伐を行ひ尙も國民軍の統制強化を謀るため南支のサヴェート區域に對し強硬なる遠征を行つた。今日、支那に於ける内外の破局に面して、支那の勞働者、農民、學生等達はその脱出策を何處に求めやうとするか。次々に惹起されて來る事變の原因に獨り想を回らす時、湧然と湧き出づるものは生きんとする惱みに、もがきあけいて居る哀れな支那民衆の姿ではなからうか。

勞働者運動と勞働組合運動

支那に於ける勞働者運動と勞働組合運動の特徴は、その極めて急速なる發展と、段階のあはたばしい交替に伴ふ異常なる緊張に、現はれてゐる。このこゝは勞働者運動が、ブルジョア民主主義革命ま

での數年間に擡頭した國民解放運動を背景として發展したといふことによつて説明される。ストライキ運動は殆んど最初から政治的性質を帯びてゐた。

支那に於ける労働者運動は、僅に七——九年の間に、××××に至る迄の凡ゆる段階を經過した。支那最初の大ストライキたる一九二二年の香港海員ストライキ（五十七時間繼續）は全國民的意義を有し、イギリス帝國主義に強大な打撃を與へた。このストライキは、中支及び北支の運動に刺戟を與へ、全國聯合總會といふ全國的組織を作る問題を提起した。

一九二二年五月一日、廣東に全國労働組合の第一回大會が開かれ、二百の労働組合を代表する百七十人の代議員が之に参加した。大會は共產主義者の影響力の勝利に歸したが、彼等は支那の各労働組合の書記局を通してついに運動を指導してゐた。大會は全國的規模に於て産業別労働組合を組織する方針を立て、又プロフィンテルン加盟の決議を採用した。

一九二二年の全一年は、實銀値上ミ労働組合の承認なる要求に基いて展開した。ストライキの中に經過した。そして殆ど凡てのストライキは労働者側の勝利に終つた。英帝國主義者ミその走狗吳佩孚は、労働者運動の彈壓に怠りなかつた。京漢鐵道に於て、鐵道従業員の總工會を組織することが決議せられ、これがための會議を召集するこゝが決せらるゝや、吳佩孚は權力を以てこの大會を禁止した。茲に於て全線に亘る鐵道従業員のストライキが宣言された（一九二三年）。吳佩孚は軍隊の力

に依つてストライキを鎮壓するに決し、二月七日、組合事務所を守つてゐた労働者を同所附近で射×した。労働者運動に對する攻勢もその後の運動を抑止するこゝは出来なかつた。一九二四年には廣東沙面に於ける労働者の反帝國主義のストライキが勃發した。一九二五年五月には全國労働組合第二回大會が召集され、四十五萬の組合員を有する二八五の組合が之に参加した。この頃には既に鐵道従業員、郵務従業員及び海員の全國的な結びりが出来てゐた。之等の指導權は××主義者の掌中にあつた。國民革命運動ミ労働者運動の次の昂揚時代（一九二五年）には、労働團體は反帝國主義闘争に於ける最大の上海總罷業は参加労働者五十萬を算へ、帝國主義者に對する全國的な同盟罷工ミ外貨排斥にまで發展した（五・三〇事件）プロレタリアートは解放闘争に於ける指導者の役割を演じ始めた。遂に同じ一九二五年に、その英雄主義で革命的創意に於て前古未會有なる香港の總罷工、總罷市（對外ボイコット）が開始され、それは數ヶ月間費やし、香港に莫大な經濟的損失を與へた。香港は通過港（中繼港）たる役割を喪失し同港の荷動きが常態に復したのはやつと一九二八年のこゝであつた。一九二六年秋及び一九二七年春には上海の労働者運動は××にまで高まつた。しかしして上海は労働者によつて占據されたが××は敗北した。

一九二七年十二月 廣東に初めて労働者、兵士、無産市民の××が勃發し、全三日間サボタージュを支へた。労働者大衆の組織力を事實に示すものとして、大なる反響を呼んだ。最後に太平洋沿

岸諸國のプロレタリアートの間に思想的組織的結合を設定（太平洋労働組合會議の設立）せるものとして重大な意義をもつた中華全國總工會第四回大會は、一九二七年六月、漢口に於て開催された。この當時が總工會の最も華かな時期で、組合員は二百七十萬を算した。

しかし蔣介石の上海に於ける四・一二クーデターに次ぐ、武漢の六月反動、最後に十二月の廣東コミューンの後に襲つた未曾有の白色テロルによつて、赤色組合は全く地下に追ひ込まれ、多くの革命的指導者は捕はれ××された。支那の革命的労働者運動は受難の時期に入つた。最盛期に三百萬を教へた總工會員数は一九二九年には三十萬人足らず（會費完納一萬餘、一九二八年にはこれ以下であつたらう）一九三〇年には五―六萬に減少した。然し赤色總工會の革命的傳統とその指導的權威は數百萬の労働者大衆の間に動かすべからざるものとして残つてゐる。かくて支那に於けるストライキ運動は反動以來の一次的退潮にも拘らず、比較的速かに恢復し、權力爭奪に浮身をやつしてゐる爲政者を他目に労働者權利の獲得のために、少く共一時の立ち遅れを克服すべく努力がなされつゝある。急速に立ち上りつゝあるプロレタリアートの闘争は、一九三二年一二月の上海事件に於て、上海を守るために示された上海プロレタリアートの行動に最もよく表はれてゐる。

民族ブルジョアジーの革命裏切後、國民黨によつて自らの黄色「労働組合」が組織されたが、労働者の間に何等見るべき影響力を持つてゐない。

現代支那に於ける農業問題

現代支那の農業經濟の一般的状態は沈滞と没落の現象を特徴としてゐる。支那は最近十年間に米、小麦、麥粉等の食糧品の輸入を増加してゐる。數多の商業及び特殊農産物、例へば生絲、木綿、茶、甘蔗、藍その他は多くの省に於て、停滞状態にあるか、又は減少してゐる。農民の資産の缺乏、充分なる肥料を入手する事の不可能並に灌漑制度の破壊が、收穫率の低下を招いてゐる。いくつかの省に於て耕作面積が減少してゐる。農業生産の増大しつゝある危機は、農業生産物市場の危機（支那に於ける高價な運賃、一種の國內關稅たる釐金、勝手な徵稅と課稅）と緊密に絡み合つてゐる。益々増大する農民に對する略奪（植民地的略奪、封建的搾取階級の強奪と寄生）に基く農業經濟の没落、低度の労働生産性、國內經濟の一般的停滞が、農村に於ける過剩人口を作り上げ、大衆的窮乏と土匪を増大せしめてゐる。農業の没落に基いて、農民大衆の貧困は強まり、饑饉は益々繁くなる。農民は大衆的に離村し、農業移民は年と共に増大し、人工の移動は自然力の如き勢で發展してゐる。

土地關係 可耕地の大部分しかもその最も良質の部分が地主の手に集中されてゐる。殘餘の部分が農民の分け前になつて居り、その農民は富農、中農、小農、過小農に分れてゐる。土地配分の説明に役立つ資料として少しく古きに失するが時の農政部長譚平山の原案より成る報告を示して見る。

推定農民人口三億三千六百萬、耕地面積二十億畝（各種統計に依て甚だしく相違す）の分布は左の通りとなる。

一、一畝以上の土地所有農民	一五〇、〇〇〇、〇〇〇	四五%
一、土地を所有せざるもの	一八六、〇〇〇、〇〇〇	五五%

内 譯

小 作 人

一三六、〇〇〇、〇〇〇

被傭農業勞働者

三〇、〇〇〇、〇〇〇

遊民、土匪、兵士

二〇、〇〇〇、〇〇〇

次に第一項の土地を所有する農民を、その所有面積の量に應じて細分するに左の通りとなる。

所有面積	總 人 數	土地所有農民中百分比	
		面積百分比	民中百分比
貧 農	一——一〇畝	六六、六七五千人	四四・四五%
中 農	一〇——三〇畝	三七、〇九五千人	二四・七三%
富 農	三〇——五〇畝	二四、三一五千人	一六・二一%
小中地主	五〇——一〇〇畝	一四、三五五千人	九・五七%
大地主	一〇〇畝以上	七、九九五千人	五・三三%

以上の數字は殆んき之以上證明を要しない程雄辯に支那の農業状態を物語つてゐるが、尙一省の（廣東省）土地配分状態を検討して見やう

土地所有者別	總數 (%)	總面積 (%)
地主	二一三	三〇
富 農	二一三	一七
中 農	一一一五	二七
小農及割地農	八〇	二六

若しも廣東地主の所有地に尙所謂公有地（そこからの収入は地主と、土豪に奪取されるのであるから）を加へるならば、廣東省の總土地面積の半分を下らざる部分、支配階級の手集中されてゐるこゝがわかる。廣西省に於ては五〇%以上の土地が地主の手に集中され、農民の持分は二〇%を出でない（爾餘の土地は公有地及び國有地を成してゐる）その他の若干の地方に就ても殆んきこれに大差がないのであるから、上記引用の數字は支那に於ける土地關係の特性を示すものゝ考へるこゝが出来る。農民の個々のグループ別の數の割合は、一連の省に於ては略次の如くである。割地農（過小農）——一五〇%乃至以上、小農——約三〇%乃至以上。中農——約二%乃至三%。小農及び過小農の何百萬の大衆は更に次のものから成つてゐる、（一）土地を持たぬ農民（小作農）（二）自作農兼小作農

(半小作農) (三) 生活の基本的源泉を農村及び都市に於ける雇傭労働からの収入に求め、これを補充するだけの小土地しか持たぬ農民。搾取の対象となつてゐるころの土地を持たぬ農民又は僅かしか土地を持たぬ農民の大衆が、全農民の四分の三以上を構成してゐる。農耕せざる階級の手への土地の集中に結びついた小農のより一層の搾取が、農民の土地持分を益々小ならしめ、働く農民の廣汎なる大衆の地主階級への從屬を益々大ならしめてゐる。支那農民の土地喪失は小作農の數の増大に現はれてゐる。江蘇省に於ては小作農は農民の約七〇%を占め、土地所有農は約三〇%である。安徽省に於ては(十二ヶ村に就て)全土地の三二・六%が土地所有農により六七・六%が小作農によつて耕作されてをり、浙江省に於ても(六ヶ村に就て)略ぼ同様な關係が見られる。廣西省に於ては(七地方に於て小作農の數が五三%、小作兼自治農一六%、地主的農民が一九%で、その他は農業労働者及び手工業労働者である。廣東省に於ては小作農三七・三%、小作兼自作農二九・二%、地主的農民三三・五%である。金貸資本家の手に集中されつゝある土地は最も優れたる半封建的搾取形態に結合して動員される小作關係の現存形式は自然地代(物納制)であるが、個々の地方、特に商業的農業が發達せる地方には、金錢地代(金納制)も行はれてゐる。自然地代の割合は、收穫高の三〇%から七—八〇%の間を上下してゐる。支那には部分的には今尙、小作人の地主への身分的隷屬の遺制が存在し、經濟的以外の種々の強制形式が行はれてゐる。地主に依る小作農の労働の直接的搾取の外に、地代の強奪

は又軍閥的課税(本質上は軍事的封建的租税である)の形式でも行はれる。而もその苛斂誅求ぶりは普通地代の最高額に引けを取らないのである。軍事上の使役その他の労働のために農民を苦力として大衆的に強制的に動員することは、農民を更に搾取するものであつて、その性質上「軍事的賦役」なのである。高利貸業と商業資本(高利貸の形式をこつてゐることが多い)の抑壓が、土地使用の農奴的形式による農民の抑壓と絡み合つてゐる。高利貸の平均月利率は二—三%、年利率は六〇%(山東省)七〇%(浙江省)場所によつては一〇〇%に達してゐる。支那農村の經濟關係によつて特徴的なのは、商業資本及び高利貸資本の地主階級の合生である。商業と高利貸資本は農民の收奪を強め土地が金貸資本家の掌中に集中されることを促進し、かくて又土地を喪つた農民が獨占的地主に奴隷的に隷屬することを助けてゐる。農村に於ける封建的諸關係の殘存が、帝國主義による支那の殖民地的抑壓の制度によつて支持されてゐる。支那の半殖民地的國家としての略奪は、外國金融資本と土着商業と高利貸資本との緊密なる結合を通じて實現されてゐる。その結果巨大な額に達する農村からの貨幣の流出は、それに相當する等價物の流入なくして行はれてゐる。外國資本は斯くして後進國支那を販賣市場並に原料市場として略奪しながら、尙その他の種々な國家的抑壓方法をも應用してゐる。即ち借款及び特殊權益を通じての××××、低廉なる「黄色」労働の搾取、國家の基本的な収入源泉たる關稅及鹽稅の掌握を通じての、更には又……

同時に又、支那、殊に農村に於ける略奪は、銀や銅の相場の暴落、紙幣インフレーションに際しての相場投機の援けをかりて行はれてゐる。一方に於て支那を資本主義諸國に對する農業的原料補充國に變へ、土着資本の發達を抑止しつゝある帝國主義は、他方に於て、交易を盛にし、金錢關係を強め、商業的農業を盛大ならしめ、農民のプロレタリア化を促進し、斯くて又不可避免的に前資本主義的生産様式の破壊とその漸次的消滅を齎らしつゝある。然るに舊い社會形式の破壊、農業の破滅、農民の家内工業の没落、農民のプロレタリア化の進行は、工業的資本主義の發展の速度よりも一層速かに行はれてゐる。此處から彼の奔流の如き農業の移民、大衆的移民の増大、勞働豫備軍の増大、勞働賃銀の低落が生れて來るのである。支那の農民は、帝國主義の抑壓を絶滅することなしには、地主と高利貸の奴隸の境遇から、官僚的封建的制度的抑壓から、又農村に於けるその主要なる代表者たる土豪劣紳から、自らを解放することは出来ない。

支那に於ける農業上の闘争は、その根本に於て農民の土地を得んが爲の闘争である。然し土地所有が高利貸資本及商業資本と絡み合つて居るためた、土地を得んが爲の闘争に於て、農民は、同時に高利貸資本及商業資本の抑壓から解放されることなしには、自己の永續的な勝利を確保することは出来ない。土地の自由なる經濟的利用のための闘争は、民を軍×××反對の方向にも導く。支那の或地方に於ては革命的農民が富農との闘争に、就中農民の半封建的搾取方法を實行しつゝある「半地主」の

グループとの闘争にまで入り込んでゐる。農民の前に立つてゐる問題の複雑性、革命の既往の段階の諸經驗した、中ブルジョア及び部分的には小ブルジョアの封建的ブルジョア反革命聯合の陣營への移行——は只、プロレタリアートの指導の下に於てのみ支那の農民は實際的勝利に到達することが出来るのだといふことを示してゐる。農業發展の革命的進路は、地主的土地所有を絶滅し、凡ての土地を農民の自由なる利用に移すといふ方向を指し示してゐる。

農民團體

紅槍會、大刀會、堅骨團、天門會等の端初的な農民の諸組織は、主として土匪との闘争、兵士等の軍用品徴發や略奪との闘争の結果發生したし、又發生しつゝある。これらの諸組織は軍隊に範つて建設され、訓育され、獨自の規律を持つてゐる。彼等は全村を團結せしむることも屢々であるが、その際それが反動分子のために利用されることも稀ではない。併し闘争の過程に於て、彼等が、高利貸、收税吏、地主に對して敢然たる闘争に進出することが往々にしてあるのである。一般に之等の組織は縣の規模にも統一されて居らず、況んや全省的な組織は存在しない。又彼等の思想は反動的、空想的且つ宗教的な偏見に満ちてゐる。彼等は、軍閥戦争や土匪の横行、非常なる窮乏等によつて農民の状態

が惡化せる諸省に於て特に發達してゐるが、又急速に南支北支に向つて擴大した。これ等の他に一九二三年から二四年にかけて、廣東省に貧農層を中心に出來た農民協會があつたが漸くこれが共產主義者の指導下にあること判然として一九二八年に至り國民黨中央委員會決議に依り、花々しかりし運動も停止せしめらるゝに至つた。

四〇

支那の政黨政派

支那に於ける政黨は清朝末期憲法制定の運動に刺激せられて始めて起つたものである。即ち立憲促進の運動に伴れて豫備立憲公會、湖南の憲政公會、湖北の憲政籌備會等が起り、相聯合して國會即開の運動を起した。又一面には革命を目的とする一派、即ち孫文一派の興中會、黃興一派の黃興會、章炳麟一派の光復會が合して中國同盟會が生れ、之れが今日の國民黨の前身となつた。清朝倒れて共和政府となり參議院が開かれるや、ここに政黨の發達及新生を促した。かくて政黨林立三百餘を算へたが主なるもの十數箇、次て大政黨は小政黨を合して茲に併合時代が來り、大體に於て國民黨、共和黨統一黨、民主黨の四つとなつた。中國同盟會は國民黨となつたが。光復會は別れて統一黨を造つた。黎元洪派は共和黨となつた。

此等は凡て主義によることなく政權爭奪の具として作られたものである。然し袁と南方派との争ひが始まるや、ここに政黨は朝野の二つに大別され、袁は共和黨を、南方派は國民黨となつた。然るに國民黨は正式議會に大勝したので、袁は其中心人物宋教仁を殺すと共に、共和、黨主、統一の三黨を合して進歩黨を作り、國民黨切崩を始めた爲國民黨は五個に分離した。かくて第二革命起り、國民黨は益々壓迫され、袁は御用黨を以て自己に有利な憲法を作り、國民黨議員を逐て國會を停會するや、御用黨も邪魔物視しされて屏息した。かくて政黨は一時影を潜めた。然るに袁死し袁總統となり舊國會恢復さるゝや、政黨の再興時代となつた。南方派は頻りに分裂を續け居り新しく政學會、益友社等が生れたが、段祺瑞は御用黨の必要を感じ、小政黨を合して中和俱樂部を作り、憲政討論會を準與黨とした。間もなく對獨宣戰問題で南北の衝突が起り、遂に同會は解散して第二共和時代も過ぎ去り、政黨も亦衰へた。南北對峙後、南方には非常國會が開かれ、國民黨系と政學會が相争ふた。北方でも徐世昌が大總統となるや新國會が召集され、段派の安福俱樂部が大多數を得、研究會之に次いだ。然るに安直戰で段派が没落するや安福派衰へ、直隸派の天下になつて曹錕狩出しのため國會が開かれたが政黨は振はず、直隸派は大多數を占むる御用黨政會を作つた。この頃十三年には第二奉直戰が起り直隸派没落し、國會も開かれずに政黨は全く表面形を潜めたけれど、全然消滅した譯でなく矢張り裏面には残つて居る、南方では國民黨と政學會と永く相争ふたが遂に國民黨が勝を得、北伐の進展と共に

に國民黨は全支那に擴がり、一黨主義の下に其他の政黨は壓伏されて表面には出ない状態となつた。たゞ中國共產黨の組織は巧妙なる戦術と戦略を以て斷然國民黨の敵國を形成してゐる、之等の政黨の外に交通部に據つてゐた交通系あり、梁士詒一派の舊交通系と曹汝霖等の新交通系とに分れてゐる。又軍閥派としては北に直隸派、安徽派、奉天派があり、南に廣東派、廣西派、雲南派等があつたが、今日では南方に蔣介石の浙江派實權を握り北方に在る馮玉祥派と閻錫山の山西派、奉天派を己れの影響下に置いて居る。尙政黨の方は國民黨内に色々分派を作らんとするものがあり、新らたなる權力を把握せんとする野心家もある丈けに一黨主義國民黨の今後は大ひなる關心が有てる譯である。

中國共產黨 中國共產黨の發生は大正九年五月頃ロシア共產主義極東代表ボクボッフ支那宣傳の命を受け、上海で陳獨秀を得て支那共產黨の代表者としたのに始まり陳は一九二〇年八月先づ中國社會主義青年團を組織した。然るにこのサークルには種々に雑多な分子が入り込んだ。唯物論的マルクス主義的思想の信奉者、小ブルジョアの國民黨的革命家、クルポトキンやトルストイを崇拜する無政府主義的傾向の學生等がそれであつた。

ために思想的闘争は深化され遂に一九二一年五月一先づ解散せざる得なくなつた。しかして其中の共產黨分子だけが一九二二年十一月に新しく團體を造つた。一九二二年には中國共產黨は組織されたが表面に現はれず、黨の事業は多く青年團によつて行はれた。其後各地に支部を設け學生及勞働運動

に従事したが振はず、よつて一方正式に第三インターナショナルに加入すると共に一方では國民黨に割込み侵蝕運動を起した。しかして各部に細胞を作り、共產黨の決議を以て國民黨を動かして指導的地位に立ち、又農民、勞働者及學生運動を擔任して民衆の殆んを其手に收め、かくて國民黨左派と手を取り先づ民主主義革命を實行し次で共產主義革命に移らんとするものであつた。然るに國民黨と分裂した後の共產黨は著しく變化した。其後は専ら農村革命に従事し即ち土地革命を標榜して到る處に農民暴動を企て、逐次其波動を大にして全國的大變亂を計畫した。しかしながら最近では凡ての地主の打倒を試み、漸次に最下層階級を地盤とするに到り又一方では各地の土匪共結合してゐる模様である。之の共產黨中左右派各自その運動方針は別箇としてゐる模様であるが、全く秘密結社に立籠り専ら非合法運動の下に行はれてゐるため、その行動は知るこゝ容易でない。

中國國民黨 中國々民黨の前身は一九〇五年に發會式を擧げた中國同盟會である。中國同盟會は民國革命と共に秘密結社から表面に現はれて國民黨となつた。國民黨は三民主義と五條憲法を綱領とし、地權平均論を唱へた。然るに民國革命後は舊約法を提げ、議會に據り政權を獲得せんとして闘つたが、北方派武力のため全く蹂躪され、且つ内部にも分裂が起り、黨員の多くは軍閥官僚に墮して内容空虚になり、僅かに孫文一派により命脈を保つて來たが、一九二三年に至つて覺醒し、初めて革命的の本質に立ち歸つて主義を宣傳するに至つた。實に孫文が興中會を組織してから三十年、漸く本道

に立ち歸り生彩を放つに至つた。偶々中國共產黨員を收容したるため生氣は益々加はり、組織及び革命の方法を教へられ全く面目を一新することとなり、中國共產黨の組織に倣ひ中國々民黨章程が造られ委員組織もなつた。即ち全國代表者大會を最高機關とし中央執行委員會を設け、省黨部、縣黨部、區黨部、區分部の組織もこれに準ずることとなつた。次いで一九二四年一月二十日廣洲に於て開かれた第一回國民黨全國代表者大會は、國民黨の歴史に一新紀元を劃し、宣言綱領を發表して其主義主張を明かにしたが、全く従來の面目を異にし、共產黨の影響が少からず感ぜられた。同時にこの大會で中央執行委員が選舉され、共產黨員も選舉された。國民黨に依つて擧げられた新方針の結果としては國民黨の陳列内に労働者も農民が入りはじめた。昨日までの國民黨は支那の國民ブルジョアを結合して居たに過ぎなかつたのである。一九二五年五月の上海總罷業も帝國主義者に對する排貨運動は、全支特に南支に於ける反帝國主義運動の新たなる波を昂揚せしめたが、同時に此の闘争は國民黨内部に對しても深刻なる各層分離の端緒を開いた。國民黨右翼派は自ら組織を作つて共產主義者を國民黨から驅逐せんとする最初の試みを示した。孫文死すに當り愈々この軋轢盛んとなり一九二五年の秋、右翼派は北京に於て西山派會議を開き左派は廣東に歸り本家争ひを初めた。然るに其後右派は漸く振はず、廣東に據つた國共聯合の左派は、孫文の大元帥府制を廢して廣東政府を委員制とし、民衆運動を行ふと共に、廣東の統一を計り、國民革命軍を組織して北伐を準備した。然るに共產派の勢力過度

に増大して中間派の蔣介石を除かんとするや、蔣は所謂中山艦事件を名として共產黨の一部に彈壓を加へ、クーデターに依つて國民黨指導部に對する、國民ブルジョアの支配確立を計らんとした。革命の領土的基礎を著しく擴大した北伐は、色々の意味に於て國民黨に反響した。尙此間蔣介石も共產黨との關係は益々阻隔し、一九二七年夏、蔣介石は共產黨を分離して南京政府を樹立し、武漢政府も亦共產黨を分離したので、こゝに國民黨各派の合同が企てられ、共產黨問題で分離して居た國民黨各派は相合するに至つた。然るに北伐成功して國民黨の統一なるや、國民黨は一黨主義を採用して他に政黨の存在を許さない。然し黨内に於ける、左右及中間派の暗闘は依然として行はれてゐる。國民黨の組織は北伐完成と共に各地に擴がり、その黨員全面に約百萬人を稱されてゐるが、共產黨員の混入から相當複雑な問題を引續き起しつゝある。隨て黨と政府との關係も常に問題となつて居る。黨部では黨の勢力を増大して政府の上に置かんとし、政府は成丈け黨の權限を縮少せしめたい方針である。黨の將來性として當然強化した時、黨專制政治の出現を許されることになるだらうか。茲に反抗するものに軍閥勢力を中心とした既成勢であつて、殊に地方に於て反抗の氣勢は大である。黨の主義及び黨の前途、さうなるものか、全く斷定がつかない。かくて國民黨の前途不安は支那國の不安であり飽迄得體の取れぬ支那となり終るだけである。

三 中全會と宣言

漢蔣介石は逐次國民政府の強力化を計り、漸く民國廿五年を迎へた。時、胡

漢民を中心とする西南政府は、倒蔣抗日の軍を興し、北上せんとするや蔣これを直ちに知つて、中央軍をして急速に廣東を陥れしめ潰滅して、遂に實質的に國民黨の統一を完成した。然るに同年十二月西安に於て張學良一派の叛亂を起し、蔣介石を監禁した事は結果に於て見れば却て、國民政府が全國的統一を略々完了し、民心が之に歸しつゝあることを表示したものに過ぎなかつた。かゝる政情下にあつて民國廿六年（一九三七年）二月十五日より南京に於て開催された、第五期第三次中央執行委員中央監察委員全體會議（所謂三中全會）は今後の政治動向を示唆するに重要な關鍵であつた。三中全會は二月十五日より八日間に亘り、西安事變の善後措置、綏東、察北、冀察に對する對策、共產黨に對する態度、抗日問題、國防の擴充、經濟統一工作、國民大會の開催等重要課題に就き審議を重ね、二十二日の閉會に際し要旨次の如き大會宣言を發表した。

一、赤禍根絶

赤化宣傳は救國救民を本旨とする三民主義とは絶対に相容れない。共產黨の封建的割據、專制的殘酷な策略及國家統一を破壊する行動と宣傳は建國立人の責任を持つ本黨とは絶対に相反するものである、吾々は先づ中華民族固有の精神と道徳を恢復し、獨立自主の人格を樹立して始めて我中華民族固有の版圖を恢復し、我中華民族の歴史的光榮を繼承し、三民主義を實現し得るものである。故に赤禍を根絶することは我國家我民族必須の大道である。

二、對外方針

二中全會に決定する對外方針を繼承し、對内的には自立、對外的には共存を求め受ける損害が忍耐の限度を越えるに於ては決然抗戦に出る。吾人は平等互惠互に領土主權を尊重するの原則を遵守すべきを願ふ。而し其第一步として解決を求めるとは「匪僞」をして其據る所を失はしめ主權の完整を期する。

三、對内方針

對内的には和平統一を信條とする、和平統一の目的は一國家、一民族の力量を集中して當面の國難を排除し進んで民權の大道に踏入するに在る。一國家の義を明にせんとせば統治權の不可分、就中軍事、外交、財政交通の如き國防に關するものは中央の統攬に由らねばならぬことを知らねばならない、一民族の利害は終に一切の個人、團體の上に超越するものであることを知らねばならない、此二義は實に和平統一の眞諦である。近日共產分子は共產黨の口實を借りてゐるが、往事に徴して信を置き難い、如何なる方式に依るも自力を以て赤禍を根絶し民族復興の基を奠むるものである、民衆を組織し、民衆を訓練して建國の大業に共同參與せしむることは本黨の天職としてゐる所である。五全會及一中全會に於て國民大會を二十五年十一月十二日招集して憲法草案を宣布すべきことを決議したが、所期の如く進捗せず延期されてゐた。今次の全體會議は國民大會の關係重大なるを以て特に本年十一月十二日舉行することに決定した。

四、經濟建設方針

國家統一の進行は經濟統一有つて始めて眞に成功となる。故に經濟建設は目前重要な圖とする、經濟建設は總理の定めた民生主義に遵據し進行せしめなければならぬ、民生主義はマルクス學說に對して此を社會病理家として社會生理家に非すと判定してゐる、階級闘争は社會進化の際發生する病態で、其促成に努力すべきものではない、中國現在の地位を以て民生問題を解決せんせば事實に根據すべきで、玄渺の理想、空洞の學理に彷彿すべきではない。中國目前の顯著の事實は全般的貧窮で、貧富不拘等なのは、其中に大貧小貧の區別あるに過ぎない。故に中國民生問題解決方法は皆豫防する爲に、地權を平均し、資本を節制するに在り、又生産を増進する爲に、國家資本を發達せしめ同時に私人資本には適當の保護を加へるに在る。此指示は皆經濟建設不易の方針である。農民に關しては苛捐雜税を廢除して痛苦を除き、農業の研究機關を設定して、技術を改良し販賣機關を設置して販賣を便利にし、農民銀行及産業組合を組織して金融を敏活ならしめ治河造材を行つて災害を防止する等、其目的は悉く農民をして生活力を増加せしむるに在る。此外上海に相當の輕工業が國內實業家の數十年來拮据經營する所であつた。然るに秘密の宣傳組織は階級闘争の毒念を人心に潛入せしめ、有用有能の分子の存在を困難ならしめ、資本家は外國の強力資本と優秀技術の上に艱難奮闘し同情に堪へないものがある。經濟建設のためには此等工業を維持し愛護し必要に應じて統制を施すことも此等工業の生存發達を圖る爲め必要である。其他比較的大工業、或は其性質上國營を可とするもの、或は其事業が私人資力の經營し能はざるものに就ては、國家資本を發達せしめて以て其責任を負ふ。

右の宣言要旨に據れば、今後共產黨排撃を繼續し統制經濟主義に依る經濟建設統一を強行し、以て

國家統一を完成せんとするに在る、從て近來行政的統一を略々遂行せる國民政府が、自主的に採るべき諸政策は大體右の宣言の方向に副ふことを原則とするであらう。

民國革命の概略

民國革命は孫文一派の民主制の思想が加はり、從來の皇帝思想に對抗して起り上つたもので、殊に史を通じて特記されねばならないのは列國關係がこの革命に際して一役つつ振當てられてゐたことである。

民國革命の端は既に康有爲一派の維新黨により播かれた。彼等は光緒皇帝を擁して一大革新を行はんとしたが、西太后一派のクーテターを喰つて失敗し、其後反動政治が続いて遂に義和團が起り、清朝の基礎動搖し、財政の困難に加へ日露戦争は支那國民に深甚の刺激を與へ漢人の民族革命の風潮が盛んになつた。そこで清朝は止むを得ず各國憲政考察大臣を派遣するに至つた。當時一部の急進論者を除き、大部は立憲制により改革の歩を進めんとして立憲促進の運動が到る所に起つたが、清朝は之に抗すれば國民を激せしむる危険あり、立憲制を採れば多數派たる漢人の政治を持ち來し自ら倒れねばならぬので、ひたすら國會開會の延遷策を取つたが、大勢に押され終に一九一三年に國會を開くに

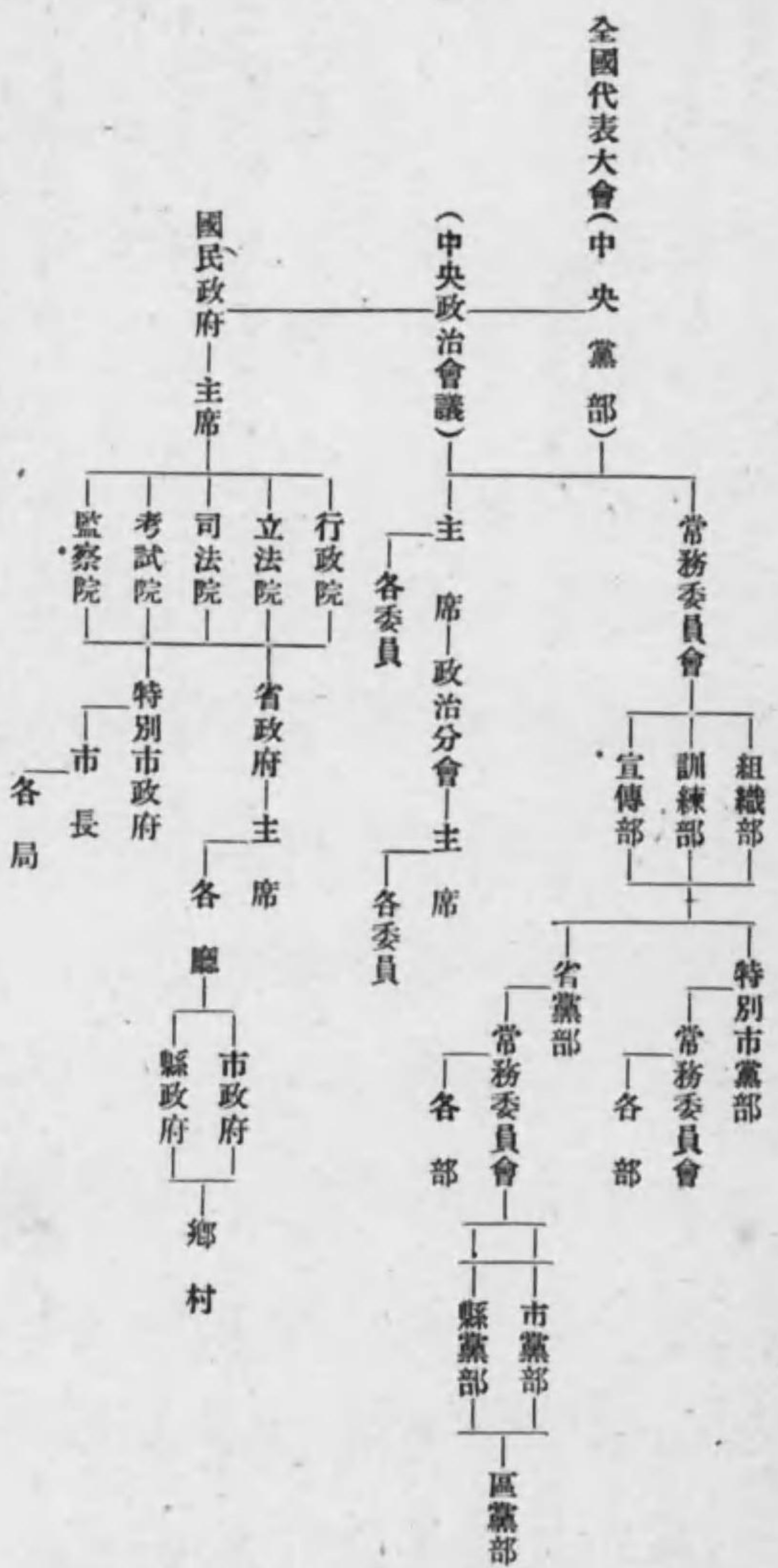
決した。然るに立憲運動と共に一方には革命運動が次第に進展し、明治三十八年には支那共和民主主義者の秘密結社である孫文一派の興中會と黃興一派の華興會、章炳麟一派の光復會が大團結して東京で中國同盟會を造つた。中國同盟會の成立は民國革命史に一新時代を劃し、機關紙を發行して大いに宣傳に努め、支那内外に支部を設け到る處に叛亂と暗殺政策を行つた。かくて時機は次第に熟し、鐵道國有に反對して四川に反亂起るや、それをきつかけに明治四十四年（一九一一年）十月十日武昌に革命起り、黎元洪推されて鄂軍大都督となり、十四日には武昌軍政府が成立した。其後約三ヶ月間に獨立を宣言するもの十六省に達した。そこで清朝は大いに驚き奸雄袁世凱を起したが反て其手に倒さるゝに至つた。袁は自ら天下の權を握らんとし、一方南軍を抑へながら之を利用して北方の政權を握り、一方清朝の武力を背景に南方に威壓を加へ、清朝退位後袁を大總統にするこゝを約せしめ、次いで部の北洋軍閥將領四十六名連署の共和強要電報を打たせて清朝を退位させた。かくて袁世凱は天下の霸を稱へた。之の革命には民族主義に依る滿民族の漢民族統治打破と專制を廢し、共和民主制を採用せんとする二つの意義を含まれてゐたが第一の目的は達したか、第二の目的に至つては完全に失敗し、こゝに南方派と袁との抗争が始まつた。革命軍は南京占領後臨時政府を巡り海外亡命の旅から急據歸國した孫文を臨時大總統としたが徹底的に北伐を行ふ力なく、先づ清朝を倒すため袁と妥協し次いで徐ろに第二の共和制採用の目的に進まんとした。かくて其後は袁の皇帝思想に對する南方派の

共和思想の闘ひが始まつた。南方派は第一に臨時政府の位置を南方派の勢力圏内にある南京に定め、第二は袁を束縛する臨時約法を定めた。併し第一は失敗し、兩者の抗争は臨時約法を中心として行はるゝに至り、南方派は政黨によつて中央の政權を握らんとし正式議會の選舉に大勝して一路政黨内閣に向つて直進せんとしたので袁は遂に最後の手段を講じ、國民黨の中心人物宋教仁を暗殺させ、その結果第二革命が起つたが、袁は之を機會に國民黨議員を壓迫して、全部の當選證書を剝奪し、國會は停會した。かくては彼は一意帝制運動に向つて進み、四年末選舉により皇帝に推され、即位の大典を準備して居たが、蔡鍔、雲南に入り唐繼堯と共に第三革命起り、南方諸省相繼いで獨立したので、帝制は取消され次いで袁は死歿した。袁の歿後北方では黎元洪大總統となつたが虚位を擁するに過ぎず實權は段祺瑞にあつた。其後督軍の跋扈甚だしく、遂に北支那に二大軍閥の對抗時代を現出し、其の争鬪戦が繰返され羈者は武力により支那を統一せんとし、北方の武力は常に南方を壓し、南方にも亦軍閥の争ひが続いた。かゝる状況の下に南方革命黨の勢力は、さうであつたかと言ふに、袁の死後革命の氣力衰へ、大部分の者は政權の争奪に没頭して革命の本領を失ひ、或は官僚軍閥に墮して國民黨の内容も全く空虚となり、たゞ少數の人士により辛うじて黨の命脈を傳ふるに過ぎなかつた。かくて歲月は流れて民國十二年に至り國民黨は更生した。北方では直隸派の天下を謳歌し、吳佩孚が武力統一を夢見て居る間に、一度陳炯明に追はれ身を以て脱れた孫逸仙は陳炯明を敗つて再び廣東に復歸し

同時に第一革命以後久しく惰眠を貪つて居た國民黨は覺醒し、十二年一月に堂々たる新宣言と綱領を發表した。ついで國民黨と共產黨との提携成り、十三年一月廣州で第一回國民黨全國代表大會を開いた。これこそが國民革命の出發點であり、爾後十年間は國民黨の活躍時代であり、全支に在る軍閥を支配して國民政府の固めを築いた蔣介石の偉大なる功績を語るべき、なるのである。茲に生涯を擧げて民國革命の生命となつた孫文は、後年黨及政府の基礎確立に没頭したが、一九二四年春、國民黨の改組を完成し、國民革命運動に於ける、プロレタリアートと協同を形成した。偶々直隸軍閥失墜し段祺瑞執政となるや、好機至れり國民會議召集を高唱して北上したが目的を達し得ずして北京に客死した。歳六十。この時一九二四年（民國十四年）三月十二日。

國民政府の政治組織

國民黨の最高機關は黨部であつて其指導下に政府がある。黨と政府との關係を表示するに次の如くである。



國民政府委員は主席一名委員十二名乃至十六名を設け、重要政務ある時は委員會議を開くのである。五院組織は孫文の五權憲法に基くものであるが、行政院は内閣見たやうなものだし、司法院は法を支

配し、立法院は國民政府の最高立法機關であつて、法律案、豫算案、宣戰案、大赦案、講和案、條約案及び其他の重要國際事務を議決する職權を有する。其組織は正副院長各一名あり、其下に委員四十九名乃至九十九名を置き委員の任期を二年とし、委員は國民政府之を任免する。院長が會議の主席となる。事務を行ふためには秘書翻譯の二處を、外交、財政、軍事、法制の四委員會を置く。考試院は官吏の登用試験を行ふ處である。考試院は國民政府の最高考試機關であつて、政府の官吏は法律に依り試験を受けねばならぬ。考試院には院長副院長一名を設くる。監察院は官廳及官吏の非違を彈劾するものである。組織法には監察院は國民政府の最高監察機關にして法律により彈劾及び會計検査の職權を行使すあり。組織としては正副院長各一名を置き、其下に委員十九名乃至二十九名を置き監察院會議を組織し、院長を主席とする。司法院内には正副院長の下に秘書、參事、司法行政、司法審判、行政審判の五處を設け、別に官吏懲戒委員會を置く。其職務は司法審判、司法行政、官吏懲戒、行政審判を掌るにある。以上の五院組織は外國に支那の制度を斟酌して造り上げたものであつて其完成期に訓政期の終りになつて居るが、右派は政府の權限を擴大するために早く造り上げたものである。左派は之に對して大いに反對し、立法、監察兩院の組織は之を保留し、國民黨中央執行委員會及監察委員會をして之に代行せしめ、黨の權限を擴大せんとしたが失敗した。

ここに國民政府主席は國民政府を代表して外國大使、公使を接見し、及び國際典禮に參與し、陸

海軍總司令を兼ね、國務會議の主席となるもので、從來の大總統に當るべきものである。尙行政院の内容について述べて見るに、行政院内に秘書、政務の二處を、内政、外交、財政、工商、農墾、軍政、交通、教育、鐵道、衛生の十部を、建設、僑務、勞工、蒙回藏、禁煙委員會の五委員會を設け、從來の司法部は司法院に移す。各部には部長一名、政務次官一名、各委員會には委員長、副委員長各一名を設け、行政院々長より政府へ上申してこれを任命する。次に各部組織の概要を掲げる。

行政院各部には次の署司を設置す。

(財政部)―關務署、監務署、總務司、賦稅司、公債司、錢幣司、國庫司、合計司、煙酒稅處、印花稅處、煙捲煤油稅處。

(內務部)―總務司、統計司、民政司、土地司、警政司、禮俗司。

(外交部)―總務部、國際司、亞細亞司、歐米司、情報司。

(教育部)―總務司、高等教育司、普通教育司、社會教育司、編審。

(交通部)―總務司、電政司、郵政司、航政司。

(鐵道部)―總務司、理財司、管理司、建設司。

(衛生部)―總務司、醫政司、保健司、防疫司、統計司。

(建設委員會)―任務は建國方略、建國大綱、三民主義に基き全國建設事業の研究計畫、水力電氣及其他的國營

久長運武士將軍皇祈

社會^株式 道鐵屋古名

町坂宮新區田熱市屋古名

番一八一三(73)穗瑞話電

社會^株式 東邦瓦斯株式

手繩高町所器御區田熱市屋古名

番一三一三(73)穗瑞話電

事業。組織としては國民政府より任命されたる若干名、行政院各部長、各省建設廳長を以て充つ。

◆地方の組織としては各省に省政府主席があつて以前の省長の職を執り其下に各廳がある。民國後省の政治は軍閥の手にあり、督軍は多く省長を兼ねて居たが、軍民分治が喧ましくなつて兼任を廢め、配下を省長とし、實權は督軍にあつた。然し曩に行政方面に主席を設くるに至つたが、政治分會が其上にあり依然軍人政治から脱出することが出來ず、時折紛糾を起しつゝある。省以下の組織は以前には省の下に州がありその下に縣があつたが、州は其後廢せられ、縣が省に直屬し道だけ残つて道尹を置いたが、今日はそれも改め省の下に直ちに縣が置いてある。一つの省には百位の數の縣があり、縣の大きさは日本の縣に郡との中間位である。縣には縣長がある。縣の内部に於ける政治状態は舊態依然として弊端百出である。南京、上海、天津、北京、漢口、廣州等の大都市には特別市制を施き、中央政府に直屬してゐる。之等特別市制の組織を南京の例に見るに市長の下に市政會議があり、尙秘書參事等、市政法規委員會を有し行政機關として財政、土地、工務、公安、教育、社會、衛生等の諸局がある。兵權は國民政府の手に統一されることになつてゐるが、實は各地方軍閥の手中にあり、政治分會の名の下に地盤を分割してゐるもの國民政府の中央集中と統一には仲々難事のものがある。所詮軍閥封建の實體は如何なる形でか當分残るであらうことは止むを得まい。

支那那讀本 (終)

祈皇軍將士運長久

矢作水力株式會社

名古屋市東區東片端町
電話東④ 八三二一
三二一七番

愛知時計電機株式會社

名古屋市熱田區船方町
電話南⑥ 〇一七二
三八三七番

三菱重工業株式會社

名古屋航空機製作所
名古屋市南區大江町
電話南⑥ 〇三三一
六三六〇番

東邦電力株式會社

名古屋市中區西松枝町
電話中③ 〇二一八
二一八一番

昭和十二年十月十二日印刷
昭和十二年十月十六日發行

支那讀本

定價 二十錢

著作
編輯兼發行人 高村藤市
印刷所兼印刷人 名古屋市中區白川町一丁目 興英社 吉安竹三郎

發行所 名古屋市南區豐田町四ノ割一八四〇ノ三
時局通信社

終

